

問

農本規仁

町長に就任し二年が経ち、合併した三町村の垣根を取り払うために努力したと理解している。

町長の任期は 残り2年となったが

答 健康で明るい心豊かな町づくりを



今後は、どういったことに重点を置いた町政運営で臨むのか。

答

町 長

任期も折り返し地点を過ぎ、地方にとって厳しい財政状況のなか、健全な町づくりのためには、健全な財政の維持が不可欠であると考えている。

就任後、町内の識者による行政改革推進委員会を設立し、行政改革大綱を策定し、現在は、大綱に沿った改革を進めている。

今後も財政の健全化、町有財産の適正管理、組織機構、出資法人、人材の見直しなど、状況を検証しながら町民が何を求め、望んでいるか視野におきながら地域づくり、活性化に取り組んでいく。

問

農 本

他の町村にない我が町ならではの政策で町をPRし、人に来て住んでもらい、喜んでもらうようなことを考えていないか。

答

町 長

町の将来を見据えた町づくりのためには老人対策とその福祉が必要であり、その一環として始めたコミュニティバス運行と、仁淀地域の旧建設省独身寮跡地の買い取りも将来を見据え、保育所移転と福祉施設を設置したい。

また、事務事業の見直し、指定管理者制度、生徒児童の減少による教育施設など、この先検討を加えなければならない問題がいくつもある。

同時に、自立できる地域づくり、また、住民にその意識を植え付けていくことが大切である。

基礎づくりをしていくことで、健康で明るい心豊かな町づくりができるよう努めたい。



町の将来を見据えた町づくりは、「老人対策」が…藤崎町長（町長室）



8月6日から運行を始めたコミュニティバス
(大崎診療所)

問

片岡政徳

コミュニティバスの経路はすべて大崎診療所が終点で、仁淀、池川地区からの一方通行だ。

コミュニティバスであれば、旧三町村が交流する交通網とし、各地域の医療機関、商店、施設利用の便宜を図るため仁淀



答 検討する

コミュニティバス

運行の見直しを

発のバスは池川、池川発は仁淀が終点となる運行ができないか。

運転手採用で委託の選択肢はなかったか。他のバスはすべて競争見積の委託で、差があるとの声も聞く。採用の経過を聞く。

答

企画課長

問

片岡

利用者の声を聞き、調査を一定期間行い見直しの段階で実際の需要状況など照らし合わせ検討し、効率的、効果的、利便性の高い運行を目指していく。

大崎診療所で折り返せば時間的にも行ける、まず実施しては。

委託と嘱託では経費の差があると考える。すべて税金の観点から経費削減でなければ将来、大きな負担となる。今後、検討を。

答

企画課長

意見を踏まえ改善に努める。経費面は町民への利便性を高めながら節減を社会福祉協議会とともに検討する。

「郷土館いけがわ」が古くなった

答 文化財保護審議会の意見も聞いて

問

片岡

旧池川町民より寄贈の民具などの保管施設「郷土館いけがわ」が老朽し外部のトタン屋根が腐食している。また、民具の整理と周辺の雑草を刈り環境を良くする必要もあ

答

教育長

と思うが対応を聞く。

昭和二十九年の建築で六十年に内装を改修し、総数七五四点の民具を展示、保存しているが、老朽し雨漏りが発生し、湿気でカビ、害虫により展示品も傷み十分な保存でなく対応に苦慮している。

現施設では窮屈な展示で、スペースの確保が望まれる。即解決は困難だが、保存の研究が必要。良好な状況で管理ができるよう担当課と協力し対応していく。

答

池川支所長

き、総合的に検討する。



雨漏りがひどくなった「郷土館いけがわ」(土居)



3課がベターだが、合併して6課になった役場（本庁）

問

西森常晴

財政危機を脱する方策として、共同通信社の世論調査では、歳出削減が

52・2%だ、その方法として、公務員の定数削減をあげた人が51・8%。仁淀川町の職員は、類似団体に比べても、まだ50人多いが。



答

勸奨退職制度を活用して

類似団体に比べて

まだ50人多い

答

副町長

合併前の十七年四月一日時点での職員数は195人。

二年後の十九年四月一日で20人の削減を行っている。

人件費抑制には職員数の適正化が不可欠だ。今後、勸奨退職制度などを活用しながら削減に努めたい。

問

西森

一度退職した元気で能力の高い職員は、臨時職員として再雇用する方策もとれるのでは。

答

副町長

年金も65才からという状況、60才はまだまだ若い。検討したい。

全国に先がけて「出前サービス」を

〔答〕業務に支障をきたし困難

問

西森

役場の組織は、3課プラス教育委員会がベターといわれている。

現在の6課は、過剰な職員のためのもので不経済だ。

職員の削減ができないのなら、余った職員で町の文書を配ったらどうか。

答

副町長

町内約3500戸、全世帯に直接届けるのは、通常業務に支障をきたし困難だ。

区長も高齢化し、無理があることは、区長会などで聞いている。

問

西森

中にいる者は100%仕事をしているつもりだろうが、十分仕事をしているとは思えない。

郵便局は、町内全域を一日15人で配達している。

職員が直接、町民に届けられればスキシッブも図れる。

答

総務課長

れ、経費の節減にもなる。年間、公用車の燃料代はいくらか。

バス、作業班が使う機械などを除いた燃料代は653万円。

問

西森

職員が役場の中に座って、住民を迎える時代は終わった。

高齢化率が50%になるうとしている、町は、「出前サービス」を全国に先がけて実行する時が今だと信じる。

「緑の砂漠」を「緑のダム」に

〔答〕 京大の取り組みに期待している

問 西 森

広報9月号にはがっかりきた。何が洪水から下流域を守る「大渡ダム」だ。

ダム建設は、現在国債（借金）残高835兆円の元となっただけでな

く、建設後、全国いたるところで、環境破壊など多くの問題を起こしている。

今、有識者が取り組み国民に少しずつ理解されてきているのは、荒廃し「緑の砂漠」化した植林に目を向けた「緑のダム」づくりだ。

池川の狩山・吉ヶ成地区で行われようとしている京都大学の実験事業はどうなっているか。

〔答〕 池川地域振興課長

京都大学で20年度に森里海連環学による地域循環本文化社会創出事業が

議長一ロメモ！

九月十七日「敬老の日」の前後、町内各地区で敬老のお祝いが催されました。

議会、執行部も案内をいただき手分けしてお祝いに参加、私も数カ所参加させていただきまし

た。地域長さん区長さんを中心に敬老の方々にご苦労、感謝を地域の皆様の手作り料理や演劇、カラオケで祝福されておりました。

ある地区では小さな子どもから年齢を問わず地

区全員が参加、児童の踊りから始まり余興で楽しませていただきました。

自主防災組織も結成され日頃から危険地の点検、防災訓練、災害時に地区民、高齢者を安全な場所に避難させる、自分たちの地区は自分たちの力で守って行く、地区が一丸となり安心、安全な地区づくりには素晴らしいまとまりですね。安心、安全な町をつくりましょう。

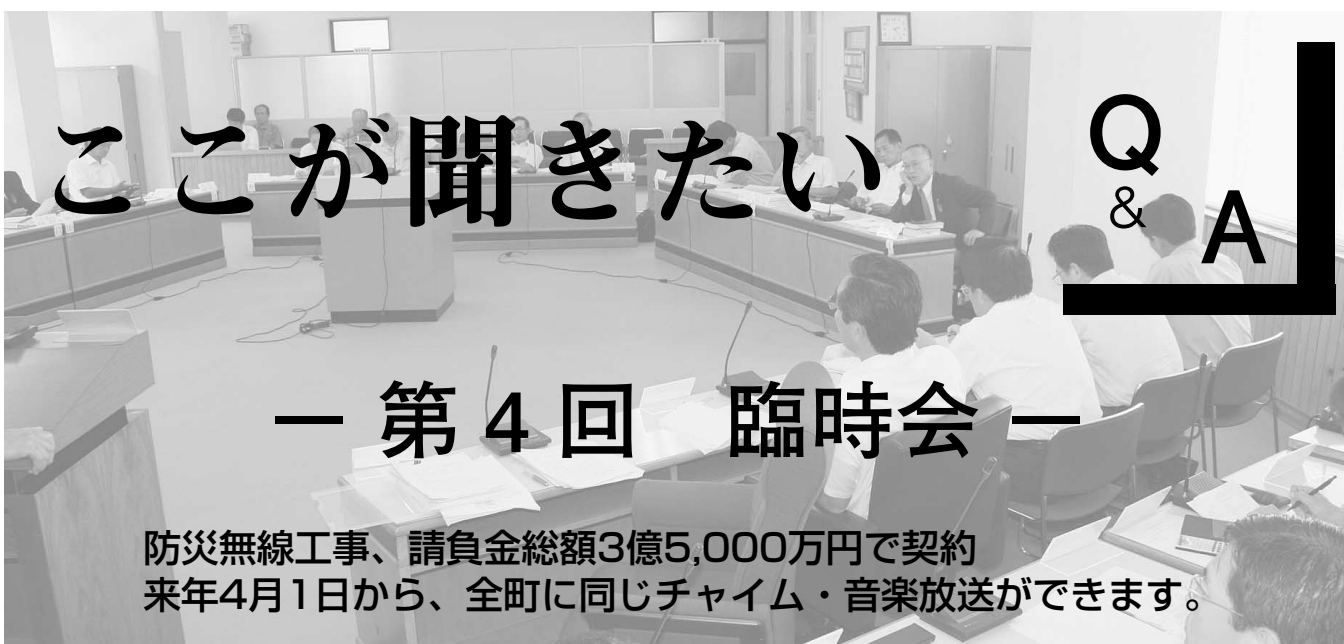
計画された。仁淀川流域で森と川と海の物質循環、生態系連環、それぞれの自然とのつながりを研究するもの。

20年度の事業費は約3億円。文科省の補助が約8000万円。残りを京大と県が負担。調査研究を京大が、池川地区の1800haの間伐作業と地

権者の取りまとめは町内の林業関係企業が中心となっていく計画。事業が採択されれば地域の活性化につながり期待している。



大渡ダムができて20年、通年濁ったままの1級河川仁淀川（名野川）



平成十九年第四回臨時
議会は、七月十日に開
れ一報告、三議案を原
案
どおり可決し、閉会した。

■専決処分の報告

工事名 平成十八年度十
八災第三八八号（応）
町道寺村峯岩戸線道路
災害復旧工事

契約の相手方 (株)不二土
木

変更前の契約金額

五四二八万五〇〇〇円

変更後の契約金額

五四二二万九三三〇円

変更理由 舗装工の減に
よる減額

変更年月日 平成十九年

六月十五日

■平成十九年度一般会 計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に
四〇〇万円を追加し、歳
入歳出それぞれ六九億一
〇三三万四千円とするも
の

環境先進地企業との協
働の森づくり事業に伴
い、Kawasaki
仁淀川学びの森整備基金

に川崎重工(株)、カワサキ
プラントシステムズ(株)
の、両社からの寄附金二
〇〇万円を積み立て、基
金の目的達成のため二〇
〇万円を取り崩し、長坂
山町有林に作業道の整備
や間伐の推進、間伐材の
利用促進を計るなど環境
整備のための補正。

(可決 全員)

■平成十八年度(繰越) 防災行政無線施設整備 工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入
札

契約金額 八六一三万四
六五〇円

契約の相手方 沖電気工
業(株)四国支社

町民への的確な行政情
報の提供や、建物・山林
火災、台風等の非常時に
消防団の出動要請等を周
知するため防災行政無線
を整備するもので、工期
平成二十年三月十日を予
定。

十九年度事業による工
事は、一体的な施設整備
で、効率的に円滑な施工
を確保するには同一業者

が望ましいとの考えか
ら、合併入札とし八業者
を指名、うち二業者の辞
退があり、六業者で平成
十九年七月五日に入札を
行った。

■平成十九年度防災行 政無線施設整備工事請 負契約の締結

契約の方法 指名競争入
札

契約金額 二億六二八一
万六〇五〇円

契約の相手方 沖電気工
業(株)四国支社

十八年度繰越工事と合併
入札を行った。

(可決 全員)

問 若藤敏久議員

最低価格を提示してい
るか。財務規則で五分の
四から三分の二だが基準
はどうなっているか。

答 総務課長

提示していないが、指名
通知の中に最低制限価格
はあると表示しており、
各業者とも本町の財務規
則で判断していると思
う。普通の請負工事は十
分の八が大体だが、特に

機器の設置が多く、メー
カーが製造した機械をそ
のまま据える工事が多い
ため三分の二の最低制限
価格とした。

問 福原克彦議員

地元業者が下請け可能
な割合はどのくらいか。

答 総務課長

七割ぐらいが機器で三
割。

問 福原議員

沖電気が三分の二で請
けて、そのまま下請けす
ると地元業者は、ひとつ
もプラスがないことにな
る。

機器を計算した中での
三分の二であれば、下請
けの地元業者には設計ど
おりの指導を願う。十七
年に津野町でトラブルが
あったことは承知か。

答 総務課長

津野町の情報は入って
いないが、佐川町で設置
したもののあちこちで聞
こえなかった話は聞く。

問 福原議員

高知新聞の記事だが、

津野町で防災無線の不具合でサイレンが鳴らず、本庁のある旧葉山村地域では問題なく作動。東津野の肝心な所では全然鳴らず、地域の人も知らないという。

津野町は火災時にサイレンが分署から電話回線の中継局などを介した上で、本庁と西片舎東津野に信号が送られて、そこから屋外子局と放送施設に電波が発信される仕組みだった。

この仕組みは入札したものと同じと思うので参考までに。

答 総務課長

今回の場合はすべて無線なのでまずないと思う。一日に三回チャイムを鳴らし、無線のチェックもするので問題ないと考えている。

問 西森常晴議員

あつてはならないトラブルがあった場合の、契約補償で保障期間、有償無償の内容は。

答 総務課長

毎年定期的に保守点検

を予定。保守点検料は六〇〇万円ぐらいと思う。点検を念入りにすればトラブルは起こらないと考えている。

問 大原儀郎議員

旧池川のオフトックとは全然違うものか。

答 総務課長

オフトックは現在、加入率が非常に低く維持管理費が非常に高額であり、防災無線を設置の場合は他地域とのバランスも考慮して、廃止または休止を検討している。

防災無線は、役場に親局を設置し、池川・仁淀総合支所、高吾北消防本部に遠隔制御装置を設置し、いつでも支所から放送ができ、サイレンも鳴らせる機械を設置、それが遠隔制御装置。

黒森山と仁淀の松尾へ設置するのが中継局、電波が直接仁淀、池川へ飛ばないこともあるので中継局を設置。池川の水峠と仁淀の石神峠に再送信子局を設置し、集落に届かない可能性がある所へ再送信子局を設置。

三戸以上世帯の各集落へ設置する屋外子局は、電柱にスピーカーを取り付けて放送する屋外子局を135箇所予定。放送が聞こえない世帯に設置する個別受信機は450個設置予定。

答 町長

そういうことは考えて

いうのはややもすると実際に立たない。並行して昔の半鐘を各地に構えるとかやれば発信できると思うが。

答 総務課長
来年三月十日に完成予定で、機器の調整もあるが四月一日には各集落で放送できると考えている。



お答えします。

黒森山と松尾へ中継局。水ノ峠と石神峠に再送信局をと答弁する下方総務課長

いない。

台風等で電話が不通の場合、散在集落と役場を無線で結ぶシステムを50集落設置する。

問 片岡政徳議員

個々の地域放送は完成後すぐに使用できるのか。壊れてどうしようかという地域もあるらしいが。

問 坂本伝一議員

折合の無線が聞きにくい、地元の要望に従ってもらえるか。

答 総務課長

各集落で電波の試験を

問 岡田良成議員
地元業者にできるだけ仕事を。

答 総務課長

仕様書に地元の機材、労力の活用をうたっているが、契約時に改めて申し入れを考えている。

問 農本規仁議員

電波の内容はデジタルになるのか。

答 総務課長

デジタル化となっている。

問 農本議員

個別受信機でないと受信できないと理解しているか。テレビでは受信できる電波ではないと。

答 総務課長

個別受信機または屋外子局で受信できることになっている。

(可決 全員)

ここが聞きたい

Q & A

— 第5回 臨時会 —

台風4号被害による災害復旧費7,775万円の補正です。

平成十九年第五回臨時
議会は、八月八日に開か
れ二議案を原案どおり可
決し、閉会した。

■平成十九年度一般会
計補正予算(第三号)

歳入歳出予算の総額に
七十七万二千円を追加
し、歳入歳出それぞれ六
九億八八〇八万六千円と
するもの

主な補正は台風四号被
害に伴うもので、加枝地
区の農地保全など農業用
施設災害復旧費六四一三
万円、施工中に山腹斜面
に大崩壊が発生した町道
寺村峯岩戸線の公共土木
施設災害復旧費一三六一
万六千円。

問 西森常晴議員

今回の崩壊は未然に防
ぐことはできなかったの
か。主体が町でないとい
う問題でなく、いろんな
ことが起こると思うが。

答 産業建設課長

治山工事も山腹工事と
災害関連事業で終わり、
町道の災害も八月には完

成して通行できるように
順調だったが、予想外の
災害であった。治山で上
部の想定も調査した段階
で、設計できると考えて
いる。

(可決 全員)



平成18年7月から実に3回目の崩落
今回の工事完成は未定(峯岩戸)



台風4号で被害を受けた農地(加枝)



町道椿山線、総事業費3億円。5年間で整備する（百川内）

■平成十九年度道交第四一九七—一号町道椿山線地方道路交付金工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 五六四三万一千二〇〇円

契約の相手方 栄宝生建設(株)

地方道路整備臨時交付金事業で平成十八年度から二二年度までの五年間で国道四九四号から分岐した、町道椿山線の起点より延長四七〇mを総事業費三億円で幅員5mに改良整備する計画。
本年度は起点より一四〇m間の幅員狭小区間及び道路上方からの崩落石などの危険区間を改良整備するもの。工期は平成二十年二月二十八日予定。入札は平成十九年八月三日、町内九業者で行った。

問 福原克彦議員

非常に仕事が少ないと今までの議会でも出ていたが、工事箇所を見ても二ないし三に分割発注で

きたと思うが、検討しなかったのか。

答 池川地域振興課長

河川と山側工事部分で分割の検討、協議もしたが、明確な理由があるとはいえず、一括発注とした。

問 若藤敏久議員

落札率80%と、競争入札の本心と思うが、入札の時点で業者にどこまで知らせているのか。

答 総務課長

指名通知の段階で業者に公表しているのは請負対象金額。

問 若藤議員

池川の工事に、吾川の業者が入っているが、これに仁淀の業者が入ることとは今後もないのか。

池川は六・七業者ある。仁淀も入れないと、不公平にならないか。

答 町長

請負額により、地域性も考え選考委員会で選考している。非常に大きい工事になるとそれなりの

技術、資力の問題もある。

池川へ吾川の業者が入っているのは、県工事の池川の場合、旧吾川の業者はほとんど入っている。工事の金額、状況に応じて臨機応変に対応していきたい。

問 若藤議員

例えば一五〇〇万円、二〇〇〇万円と池川の業者だけで対応できる工事の場合、池川の六、七業者でやると思ってい

か。

答 町長

状況によるが、上岡西山工務店、大一林組、林土建等は池川地域の作業員も多く地域性も考慮し指名している。また、規模等によって業者の選定をしている。

(可決 全員)